

2021年(令和3年)8月オホーツク管内倒産集計

令和3年9月3日

株式会社 東亜リサーチ

北見市常盤町3丁目16番42号

Tel (0157) 23-6288

Fax (0157) 24-1033

2か月連続の発生ゼロ 累計件数・負債額ともに前年下回る

今年3度目の発生ゼロ

■前月比	件数	同数(令和3年7月)	0件
	負債総額	同数("	0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件減少(令和2年8月)	1件)
	負債総額	1億2,000万円減少("	1億2,000万円)

令和3年8月の発生状況

令和3年8月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生がゼロだった。これは発生のなかった前月比では件数、負債額ともに同数。前年同月比では件数は1件、負債総額で1億2,000万円の減少となった。

過去5年間の8月の発生状況を見てみると平成28年から令和2年まで各1件の発生であり、平均件数は1.0件、負債総額は1億98万円。今年は発生がなかったため、平成23年以来、実に10年振りに8月の倒産は発生ゼロとなった。

過去5年間と今年1～8月の発生推移

今年1～8月の発生累計は件数で8件、負債総額は8億2,100万円となり、前年同期間と比較すると件数は1件、負債総額で4億9,700万円の減少となった。

過去5年間の発生推移は【右・表】の通りで、平均件数は11.6件、負債総額で12億8,418万円。今年の発生件数は過去5年で最低の件数となる一方、負債総額でも平成29年に次いで2番目に少ない数値となっている。

過去5年間と今年1～8月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
28年	12件	24億6,200万円
29年	16件	6億8,000万円
30年	11件	12億2,500万円
元年	10件	7億3,590万円
2年	9件	13億1,800万円
3年	8件	8億2,100万円

今後の見通しと問題点

7月、8月と2か月連続で発生ゼロに止まり、累計件数、負債額ともに前年を下回った。コロナ対策資金の柔軟な融資や給付金等の支援策による効果が続いており、オホーツク管内の企業倒産は引き続き抑制状態にある。

農産物の収穫期を迎えている管内だが、干ばつ傾向だった今年の各種農産物の作況が気になるほか、これから本格化する秋シャケ漁は平成以降最低の来遊予測が出ているなどこれまで管内景気を下支えしてきた一次産業の動向や水産・食品加工販売企業への影響が気になるところである。

感染力の強いデルタ株による流行拡大によって8月27日から9月12日を期間とした3度目の緊急事態宣言が発出された。3度の人流抑制で打撃の大きい飲食、観光、サービス業などの疲弊感は一段と増している。こうした業種では借入金で苦境を凌ぎ、過剰負債を膨らませた企業が水面下で増加しており、経営状態は消耗戦に入っている。今後も売上回復が見通せないなか、こうした企業の倒産リスクは一段と高まっている。